

おはなしのべやだよ！

あたらしい一日をありがとう

天のおとうさま、

この日をありがとう。

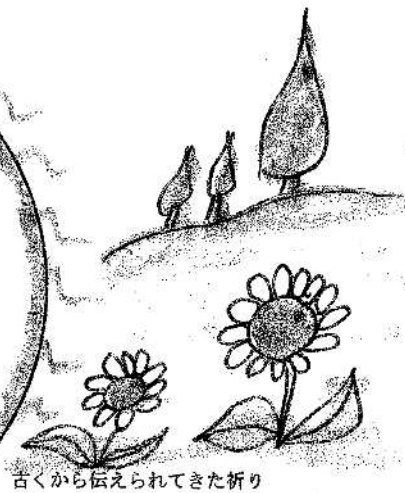
そよかぜをありがとう。

お日さまをありがとう。

このうれしいきもちをありがとう。
おてつだいができることをありがとう。
あそべることをありがとう。

天のおとうさま、ありがとう。

この日をありがとう。



古くから伝えられてきた折り

このあたらしい日をありがとう。

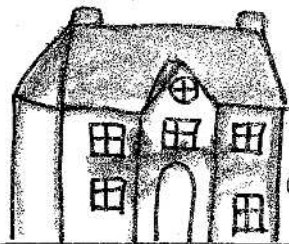
きょう、なにか

いいことができますように。

きょうがよい一日になりますように。

きょう、なにか

いいことがありますように。



(小さな おいのりのたび いのちのことば社)

2017年 3月のご案内

日時 3月10日(金) 午前10:30~12:00 昼食
 場所 日本キリスト改革派 浜松教会 (お問い合わせ: 望月 鈴子へ)
 (432-8022) 中区山手町45-3 ☎: 053-453-1694
 会費 500円 (一人でも親子何人でも) 講座、昼食、お便り

<Part I> 一緒に遊ぼう <Part II> お薦め絵本、物語など

手遊び、リズム遊び、

絵本

パネル・シアター

他



持ち寄りましょう。

心に語りかける絵本

めぐり来る日はすべて始まり!

2016年度ノーベル文学賞は、世界的に有名なアメリカのシンガーソングライターであるボブ・ディランさんが受賞しました。誰も予想しなかった人選でした。発表された後しばらく沈黙が続き、賞を辞退するのかどうか世間をよきもきさせましたが、結局受賞しました。

絵本: はじまりの日
 ボブ・ディラン 作
 ボール・ロジャース 絵
 アーサー・ピナード 訳
 岩崎書店

私自身は、彼が有名なシンガーソングライターだという事は知っていましたが、その歌を聞いたことはありません。4年ほど前に、ボブ・ディラン作・「はじまりの日」と言う絵本を本屋で見つけ、「うおっ!」という感じで手に取りパラパラとめくり読みした時、その詩に心が動かされ、いつか「おはなしのへや」で話し合うことが出来るといいなと思い購入しました。

「Forever Young」は1974年に発表されてから老若男女に愛され歌われてきているということです。「ぼくはひとりアリゾナ州に行って、そこで息子のことを思いながら「フォーエバー・ヤング」という歌をつくった。べつに作詞作曲をやるのと意気込んだわけじゃなく、自然に浮かんできて、そのままできあがった。なるべく感傷的にならないようにと、ちょっと努力しただけだ」とボブ・ディラン自身は語っています。ああ、だからさりげない中にも、親が子を思う素朴であたたかい心がシンプルにストレートに表されて、歌う人の胸、心に響いてくるのかなと思いました。

「はじまりの日」の絵の中には、ボブ・ディランの歌の世界に登場するモチーフがいくつも登場しているということです。イラストレーターのボール・ロジャースはボブ・ディランに対して敬意を持っていたのでしょう。また翻訳が、アメリカ人でありながら日本語での詩作をし、中原中也賞を受賞したこともあるアーサー・ピナードという方によるものなので、原詩を損なうことなく、違和感なく曲のメッセージを日本語でよりよく味わうことができるのではないかと感じています。

親が子どもに持つ思いはたくさんありますが、誰もが子どもたちの将来を思って願うことが、さりげなく前向きに歌われ、「毎日がきみのはじまりの日なんだよ、きょうもあしたもきみのはじまりの日なんだよ」というメッセージは、子どもたちの背中を押して、前向きに勇気をもって生きる力を与えてくれるのではないかと感じました。

聖書の中に「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」という言葉が記されています。考えてみると、子どもだけでなく大人にとっても、めぐり来る日々はどれも毎日「はじまりの日」です。同じことの繰り返しの日々でありながら、私たちは昨日とは違う新しい「命の日」を迎え過ごしています。私たちは、朝目覚めた時から、日常の種々雑多な生活の事柄を、自分の役割として淡々とこなしていくのですが、毎日のそれらは昨日とは違う新しい歩みです。全世界をお創りになり、人に「命の息」を吹き入れられて生きる者としてくださった神さまは、あなたにとって「今日も明日も新しいはじまりの日」だよ、「新しいことが芽生えているよ」とエールを送って下さっています。(望月 鈴子)



Forever Young